

誰もが安心
して暮らせ
る町づくり
をめざして

名北福祉会 広報誌

2019 **5** May No.48

みんなの夢

2019年5月1日発行（年3回）

発行所／社会福祉法人名北福祉会

発行人／黒川 富子

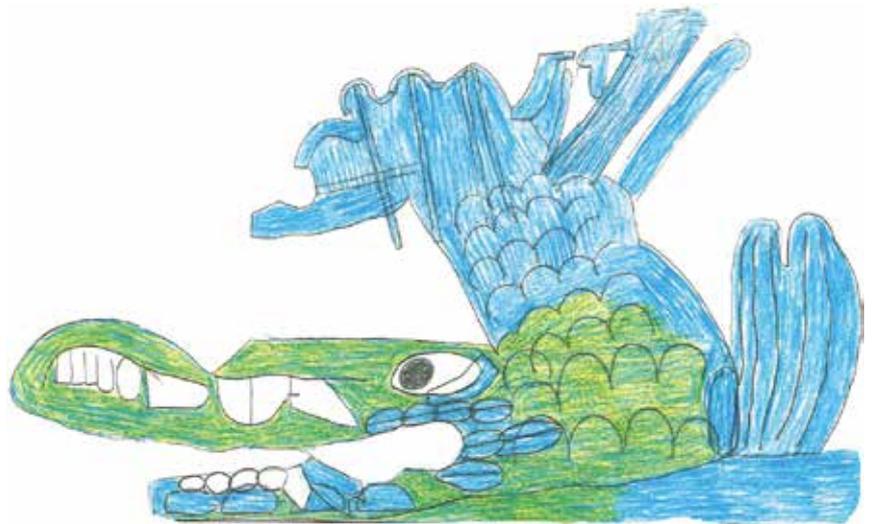
〒462-0807 名古屋市北区御成通 3-20-4 TEL:052-910-3066 FAX:912-5188 HP:<http://meihoku-fukushi.org/>

障害部の仲間の作品です



●めいほく友の家●

「創作グループ」による紙粘土などで作った作品です。



●わくわく安井の家●

作品名「シャチほこ丸」
作者 あらき 新木 ながよし 長秀

今年10月に開催される「きょうされん愛知大会」のキャラクターに応募したところ見事入選しました！今後グッズなど商品化され大会を盛り上げて行ってくれることと思います。



●めいほく鳩岡の家●

青空市でも販売しているクッキーセットとプリンです。



●のびのびクラブ●

桜のちぎり絵の作品です。

●めいほく共同作業所●

保育園の卒園式にむけてクッキーをつくりました。





今、必要とされる
 ことに応えて…

●めいほくつぼみ保育室●

小さなおうちのような
 保育所です

めいほくつぼみ保育室は、〇歳児〜二歳児を対象とした定員一〇人の小規模保育事業所です。待機児童対策として乳児の受け皿になっています。職員も情報を共有しチームワークを大切に保育にあたっています。

昨年は、半数が外国籍の子どもたちの入所でした。国の違いから



子育てに不安のある保護者の方とは、地域の病院や保健センターなどと連携して、共に子育てできることを大切にしてきました。離乳食のすすめ方の違いや伝え方の難しさもありました。

一喜一憂しながらも子どもたちの成長してきた姿、保護者との関係づくりを築いてきたうれしい一年でした。

めいほく保育園とは、給食、おやつ提供や行事への参加、園庭でのあそびなど連携保育園でお世話になっています。
 今年も子どもたちと楽しく保育にとりこんでいきます。

●第二めいほく保育園●

『びよびよ育児広場』
 ～お母さん同士がつながって～

びよびよ育児広場の担当になり、これまで何度か経験をしてきましたが、毎回びよびよ育児広場って素敵だなあと感じます。昨年度のびよびよは春・夏コースに参加してくださった親子が秋・冬コースもリピートして参加してくださった方が多く、最後の日に「楽しかったです」「終わっちゃって寂しい」などの感想をいただきま



した。子どもと楽しみながら、お母さん同士も繋がり合い、お休みした回の離乳食の資料のコピーを渡すなど、お母さん同士でやり取りしていることを知り驚きました。育児広場は、子育ての悩みやヒントを共有する場だけでなく、お母さん同士つながりが生まれ、一緒に子育てをする仲間ができる場でもあると感じました。

●なえしろ保育園●

休日保育三年目。「特別な日」ではなく、普段と同じ豊かな生活を！

なえしろ保育園は名古屋市の指定を受け三年目を迎えます。子どもたちは、休日保育の中で顔見知りの友だちと園庭やホールでダイナミックに遊び、とても賑やかです。のんびり、ゆったりとした時間の流れを大事にして過ごします。しかし、休日保育の要望が高いため予約日は電話が次々とかかり、あっという間に一〇名の枠は埋まり、キャンセル待ちも多数出

ている状態です。電話口の必死な思いも伝わってきます。現在、各区に一か所の休日保育の園がありますが、保育を必要とする子どもは年々増え続けています。親の仕事も介護、サービス業、飲食業、会社員、美容師、様々です。カレンダーでは日祝は休日であっても、日祝が仕事の親にとって平日と同じです。休日保育実施園が増えていく事が親の願いです。安心して子育て出来る様、名古屋市に声を届けていきたいと思えます。又、子どもにとって、休日は特別な保育ではなく、普段と同じ豊かな生活を大切にしていきたいと思っています。



● やだ保育園 ●

やだみんなの食堂

地域の方々が声をかけあえるような居場所になれるように

子どもから高齢の方、みんなでワイワイご飯を食べる場をと「やだみんなの食堂」を夏休み・冬休みと学校の長期休みに合わせて開いています。保育園が、卒園した



子どもたちや地域の親子や高齢の方が気軽に立ち寄り、声を掛け合えるような、そんな地域の居場所の一つになるようにと取り組み始めました。北区のわいわい子ども食堂さんから、調理器具や食器をお借りし始めましたが、子ども食堂つながりで、食器を製造会社から頂きました。保育園のOB、園内の親子や兄弟小学生やその友達、「子育て支援拠点やだっこひろば」つながりの地域の親子、いろいろな参加があります。食事しながらの会話や小学生はおかわりができることなどそれぞれの楽しみがある食堂です。

● 北病院 病児 病後児保育室 『にじ』 ●

「のんびり ゆったり」
病気の時も安心して過ごすことをめざして

北病院の小児科隣に病児・病後児保育室『にじ』があります。こじんまりとしたお部屋ですが、病気の時でも安心して過ごせるよう工夫した遊具を置いています。



インフルエンザや水ぼうそうなどの感染症に対応できるように、お部屋が分かれています。六か月の子から小学六年生まで、平日八時から十八時、土曜日は八時から十三時まで名北福祉会から派遣の保育士が対応しています。初めての場所でお母さんとの別れでは泣けてしまう子も、すっかり気に入って『にじ』に行くことを楽しみにしてくれることもあります。見学もできますので電話予約してください。

●めだか保育園●

みんなの保育園です。

親子で気軽に来てね！

二〇一七年十月から地域子育て支援拠点事業『めだかひろば』と一時保育を始めました。

めだか保育園二階の子育て支援室で開所時間内であればいつでも自由に利用することができます。木のぬくもりのあるホッとできるお部屋になっています。保育園が住宅の中にあり、あまり目立たない人通りの少ない場所ですが、給食の試食会や手作りおもちゃなどの講座のときには、いつもよりにぎやかなひろばになります。人数が多いときは、ホールまで広げて遊べるようにしました。

一時保育は、要望が高く、緊急では切迫流産で上の子の保育が必要などお母さんの急な病気のケースも多くなっています。これからも困ったときにたよりにされる保育園でありたいと思います。



地域との関わりを

意識して…

●めいほく鳩岡の家●

「いらっしやいませー」「いかがですか！」手を叩いて元気にアピールする仲間。

めいほく鳩岡の家では年に四回、施設の玄関前を開放し「青空市」を開催しています。

プリンやクッキー、仲間達の手作芸作品、めいほく共同作業所のパン、わくわく安井の家のシフォンケーキや有機野菜を始め、ちよっ



とした屋台も準備して地域の皆さんを出迎えます。

作業所のパンは人気で、販売前から楽しみに待たれる方もいらっしやいます。

「鳩岡の家」開所の頃より、仲間の輝く場面を作ることを通じ、鳩岡の家を知ってもらうこと、地域とのつながりを強くすることを目的に開催を続けてきましたが、実は一時期客足が落ち込みました。心配した仲間の1人から、「チラシにくじ引きをつけたら？」とのアイデアも出され実施してみると、小さな子どもさんを連れて初めての方が覗いて下さるといっ

ともありました。さらに内容を検討し、地域の誰からも身近に感じて頂ける鳩岡の家へなれるようにと考えています。

「キタッコいちば」

毎日区役所で福祉製品販売中

北区役所福祉課の呼びかけにより、区内で福祉製品を作っている事業所の持ち回りによる「キタッコいちば」。昨年六月より毎日区役所一階ロビーにて開催されています。

鳩岡の家は開催初日を任せられました。どれだけ立ち寄っていたかけるのだろうか？そんな不安は開始早々に払拭されました。毎回持つて行くプリンはいつも完売となり、フリーペーパーにも「キタッ





夏祭り、
にぎやか
でした!!

●友の家ホームいっぽ ● 僕たちの街での暮らし①

「こいちばのプリンがとっても美味しかった」と口コミが掲載され、「次はいつですか?」と区役所にも問い合わせが寄せられるまでです。キタツコをきっかけに「はとか力フエ」にお越しいただく方もあります。仲間達は自分達が頑張った作ったプリンやクッキーをきっかけに、少しでも私たちのことを知ってもらえればと、製造でも販売でもイキイキと頑張っています。

●相談支援センターくすのき●
地域のニーズに寄り添って

相談支援専門員と聞いて、今は「福祉サービスを相談できる人」「相談にのってくれる人」など社会での「認知度」もある状況になっています。相談支援事業が始まった六年前は、ほとんどの方が相談支援専門員と聞いても、「何ですか?」と疑われて、説明をしても「ケアマネージャーのことですか?」という返答があるなか相談支援事業が始まりました。相談支援センターくすのきでは、



北名古屋市・春日井市・豊山町などの近隣市町村からの相談依頼もあり、地域性があります。

相談支援専門員として、「同じ空間」「同じ言葉」「同じ思い」を共有することを相談の実践として大切にしてきました。同じ言葉でも「障がい」「認識」の違いなどからうまく共有できないことがあり、相談者本人・支援者間での「同じ思い」の共有をつくって支援を行っていく「話し合いの場」をもち、相談者・支援者双方が「お互いの言葉」を介して、「お互いの思い」を共有できる関係づくりに努めてきました。

相談者の「思い」をくみとるアセスメントは重要な支援の要素です。相談者の「思い」から必要な支援などを「見立て」「仮説」を立てて支援を行っていきます。



近所の
おみせに
外食だ!!



●めいほくホーム●僕たちの街での暮らし②



みんなと
もつとつながりたい！

● デイサービス東町 ●

体操教室を通じて

地域とのつながりを大切に

地域サロンとして体操教室を開催し、一年以上が経ちました。初日（一昨年十二月）は参加者五名から始まり、昨年三月はなんと十一名の方が集まって下さりましたが、猛暑の影響もあってか、六月ぐらいから少しずつ参加者も減り始め、七月・八月の参加者は四名でした。「さらに参加者が減っ



てしまったら…」という不安を感じ始めましたが、民生委員の職員・デイの運転手さんの呼びかけで、今年二月には七名の方が集まって下さりました。また、北医療生協の組合の総会や班会などに呼んで頂くこともあり、ぼちぼちに昼食を取りに行くと「あつ！体操の兄ちゃん」と声を掛けて下さる方もいます。体操教室を通じて、地域とのつながりが少しだけ深まったようにも思います。地域とのつな

がりを大切にして、今後も体操教室を皆さんと一緒に盛り上げていきます。

● めいほく町南の家 ●

「ゆれ」に寄り添い在宅を支える

小規模多機能事業所は在宅生活を支えるために通い、訪問、泊りを使い、その人らしく暮らせる生活の支援をさせていただく事業所です。

訪問では送迎時の鍵の確認や着替えの手伝い。お掃除や買い物。ご家族ができない方の定期的な受



診や緊急な受診等があります。介護が必要でも通うことが難しい方はまずは訪問して関係を作りながら通いにつなげていく方もいます。ご近所の一人暮らしのMさんは1ヶ月半の入院後、物忘れが始まり一人暮らしが続けられるか心配に。そのため毎日朝、昼、夕と訪問「体調はどうですか？」「お薬飲んでますか？」と声をかけています。（その他は週三回の通い・買い物、掃除支援を週二回）それまで体調が少し悪くなると救急車を呼んだり、寂しさもあって怒ったり。毎日の訪問で最近は穏やかになりほっとしています。

最近泊まりの利用者さんが増え、ほぼ毎日六名の方が泊まっていらつしゃいます。理由は一人暮らしで夜が心配、ご家族の仕事の都合で、ご家族の介護疲れがあつて：等です。泊りが増えると入所を考えるご家族も。もう家で暮らすのは無理かも？いやいやまだ頑張れるかも？とみなさん、悩まれています。ご本人やご家族の「ゆれ」にどのくらい寄り添えるが自分たちの役割だと感じています。

● デイサービス町南 ●

「町南のお茶会」
〜地域の皆さんとつながる場
として〜

二〇〇四年に町南が開所した当初、「地域に受け入れられ、つながっていける事業所になりたい」という思いで、当時の民生委員さんにも協力いただきお茶会を始めました。毎月一回午後の二時間、珈琲とお菓子をつまみながらおしゃべりを楽しんでいます。「久しぶりだけど元気だった?」「最近もの忘れがあつて…もう年だから」など近況報告をしたり、子ども頃の話で盛り上がりたり。時には、「この前、教えてもらったんだけど」と紹介してくれる健康体操で身体を動かすこともありま

す。毎回五〜十名程度の少人数でこじんまりとしていますが、お茶会に来て下さっていた方が、そのままデイサービスを利用されることもあり、つながり続けられるのも嬉しい事です。今は『町南の家』



● ヘルパーステーションそら ●
私たちが大切に
つとめること

ヘルパーステーションそらは、帰宅・守山区を中心にご自宅やグループホームなどで生活している方の暮らしを支えています。住み慣れた地域で暮らしていただけるように、調理・洗濯・掃除・入浴・通院の同行などの支援をしています。例えば、さまざまな原因で歩くことが困難になった時、ヘルパーが立ち上がりを支えてくれたり、栄養バランスが考えられた料理を作ってくれたり、負担の大きい拭



き掃除などをしてくれたり、住み慣れた場所で生活し続けることができますよね。さまざまな原因で毎日の生活に不安で、外を出歩くのも辛い時、ヘルパーが優しく話を聴いてくれたり、代わりに買い物に行ってくれたり、外出に付き添ってくれたりすれば、少しは気持ちりが軽くなり、前向きな気持ちで毎日を送ることができそうですよね。何もできないから何でもして差し上げるのではなく、その方の暮らしを尊重し、教えていただきながら一緒に暮らしを築いていく、ということをお大切にしています。

公開講座 2019.2.24

憲法寄席

口演:八法亭みややっこ (弁護士飯田美弥子さん)

楽しく学び改憲 NO!

参加者の声からは、「大変よかった!」の声が多く、憲法の話を楽しく聞くことができた。憲法13条(個人の尊重)の大切さや安倍首相の改憲の中身がよくわかった。1時間半があつたという間だった。など好評でした。



「人育て」は「共育ち」 ～人材育成部の取り組みから～

特集

「人の確保」と「人育て」がどの業種・分野でも課題になっていきますが、名北福祉会でも、2年前より専門部（主に管理者で構成）として、「人材育成部」を発足させました。「人材確保部」とも連携しながら、活動を進めてきています。保育・障害・高齢の3分野の強みを生かし、施設や分野を超えた職員同士で、3つの柱で活動しています。

①人を育てる「組織づくり」（部会・活動づくり）

毎月部会を開きながら、人材育成について話し合っています。たとえば新人職員の不安な声が聞こえてきます。「仕事で失敗しないか心配…」「ここで働き続けられるかしら…」「緊張して本音が言えない…」などなど。職場でそんな彼らの思いについて、部会の中でも悩みながら、検討しています。

②人を育てる「しくみづくり」（研修制度づくり）

研修体系をつくり、どの職員にも研修の機会を保障できるように努めています。最近では毎月1回、全2～3回の「つづきもの」の研修が多くなってきました。「かかわり」も深まるか

らです。基本的にはグループワークなど対話中心の研修です。部会では研修の計画立案→実施→評価・反省→立案を行っていますが、実際の参加者の声を聴きながら、途中で計画を変えたりすることもあります。研修を通して、職員それぞれの業務や役割に自ら気づくことを大切にしています。



③人をつなげる「かかわりづくり」（交流づくり）

公私ともに仲良くなれる、そんなきっかけになればと、研修のあとには交流会、いわゆる「打ち上げ」の設定をすることもあります。施設・分野を超えた交流会では、普段の職場にはない刺激があるようで、大いに盛り上がることも。また「茶食ぼちぼち」で行ったベテラン研修の打ち上げでは、地域のボランティアさんのおいしい手料理に、参加者一同、脱帽でした。

研修を受ける側が勉強になるのはもちろんですが、研修を企画する側が一番勉強になることに気づきました。まさに「人育て」は「共育ち」なんだと痛感しています。

大きいんだもん・1歳児編



新任職員研修

三月九日に新任職員研修を行いました。保育分野九名、高齢（地域生活部）分野一名、障がい分野八名の計一八名の参加がありました。

初めて社会人となる方、他での仕事を経て福祉会へ来られた方など経歴は違えど、どなたも新たなスタートに緊張した面持ちでした。

この研修では名北福祉会で働く上で大事にしてほしいこと、社会人としての基本的な姿勢を学ぶこと、新任職員同士のつながりづくりを目的としています。

午前は座学からスタート。五〇年以上の歴史のある名北福祉会。

新任職員研修
【タイムテーブル】

- 法人の理念と歴史
- 接遇マナー
- 就業規則の説明
- 分野ごとの学習
- 先輩から新入職員への話
- ワールドカフェ

はじめの一步となった「六畳一間の保育所」から五〇周年までの歩みをDVDでたどり、それ以降の法人の事業・地域活動や今後の事業展望を学びました。

続いて「マナー・接遇」では、仕事での周囲との関わりで意識していくことを学び、「就業規則」では働く人を守るものであり、規則を守りながら法人職員として働くことが周りの人たちを守ることに、良い保育・介護・支援に繋がることを学びました。

座学だけでなく、初対面の人たち同士の緊張をほぐす手法「アイスブレイク」を今回も取り入れました。二つのレクリエーションを行うと、先ほどまでの真剣な表情とは打って変わってすっかり表情も和らいで、笑い声も起るなどやかな雰囲気。

午後は分野ごとに福祉情勢を学んだあと、三分野の先輩職員からエピソードを聞きました。入職した頃の不安や悩み、何がやりがいになって続けたのか、自身のこれまでを振り返り、後輩たち

に伝えてくれました。「失敗を恐れずに挑戦する気持ちを持ち続けて」と語る先輩の姿は、新任職員の皆さんに力を与えてくれたことと思います。

最後に、「ワールドカフェ」研修を通して感じたこと、そしてめいほくで、どんな職員になっていきたいか交流しあいました。配属先はそれぞれ違いますが、今後さまざまな研修などで定期的に顔を合わせ、つながり続けていけることを人材育成部会は大切にしていきたいと思っています。

新任職員のレポートより

- 「辞令交付式で、めいほくの一員になったんだと感じた」
- 「『みんなは一人のために、一人はみんなのために』という言葉が名北福祉会の理念にもあると感じました。」
- 「『仲間たちが主人公』というフレーズが印象的でした」
- 「自分にはこんなに多くの仲間がいるんだと感じました」
- 「子ども、保護者、保育士何でも話し合える職員でありたいです」
- 「1番に子どものこと、利用者さんのことを考えることができる職員であることが大切であると感じました」
- 「保育者として真摯な態度で信頼関係を築いていきたいと思いました」



2019/03/09



めいほく友の家
相談支援センターくすのき



めいほく作業所



友の家ホームいっぽ



第二めいほく保育園



わくわく安井の家



めいほく作業所分場



めいほくホームあさひ



のびのびクラブ



憩いの家



めだか保育園
子育て支援拠点事業めだかひろば



めいほく鳩岡の家
相談支援センターはとおか



西部医療センターくさのみ保育所



なえしろ保育園
子育て支援センターなえしろ



デイサービス町南



めいほく町南の家



めいほくホーム



茶食ぼちぼち



ケアプラン町南



めいほくつぼみ保育室
名北福祉会本部
おたすけらぶ



めいほく保育園
子育て支援センターめいほく



デイサービス東町
ヘルパーステーションそら



やだ保育園
子育て支援拠点事業やだっこ

名北福祉会 本部	〒 462-0807	名古屋市北区御成通 3-20-4 TEL：052-910-3066 FAX：052-912-5188
めいほく保育園	〒 462-0804	名古屋市北区上飯田南町 5-52-2 TEL：052-911-1627 FAX：052-911-1430
第二めいほく保育園	〒 462-0804	名古屋市北区上飯田南町 1-12-2 TEL：052-914-9554 FAX：052-914-9567
なえしろ保育園	〒 463-0042	名古屋市守山区野萩町 2-61 TEL：052-793-7546 FAX：052-793-7547
めだか保育園	〒 463-0027	名古屋市守山区弁天が丘 1106 TEL：052-798-7077 FAX：052-798-7066
やだ保育園	〒 461-0040	名古屋市東区矢田三丁目 3-44 TEL：052-768-6510 FAX：052-768-6810
西部医療センターくさのみ保育所	〒 462-0057	名古屋市北区平手町 1-1-1 TEL：052-915-3106 FAX：052-915-3106
めいほくつばみ保育室	〒 462-0807	名古屋市北区御成通 3-20-4 TEL：052-991-1646 FAX：052-912-5188
めいほく共同作業所	〒 462-0802	名古屋市北区上飯田北町 4-39 TEL：052-916-4470 FAX：052-916-4472
わくわく安井の家	〒 462-0023	名古屋市北区安井 4-12-7 TEL：052-934-7461 FAX：052-934-7462
めいほく友の家	〒 462-0007	名古屋市北区如意 2-124 TEL：052-902-7707 FAX：052-902-7717
めいほく鳩岡の家	〒 462-0025	名古屋市北区鳩岡町 1-1-5 TEL：052-911-0055 FAX：052-911-1155
友の家ホームいっば	〒 462-0065	名古屋市北区喜惣治 1-384-1 TEL：052-982-7681 FAX：052-982-7682
めいほくホーム未来	〒 462-0865	名古屋市北区下飯田町 4-61 TEL：052-917-7610 FAX：052-982-6002
めいほくホームあすか	〒 462-0825	名古屋市北区大曾根 1-28-39 TEL：052-914-9133 FAX：052-914-9133
めいほくホーム大和	〒 462-0865	名古屋市北区下飯田町 4-71 TEL：052-911-2515 FAX：052-911-2515
めいほくホームあさひ	〒 463-0070	名古屋市守山区新守山 2205 TEL：052-799-5070 FAX：052-799-5071
めいほくホーム大夢	〒 462-0865	名古屋市北区下飯田町 4-71 TEL：052-916-7008 FAX：052-916-7008
のびのびクラブ	〒 463-0074	名古屋市守山区町北 5-21 TEL：052-791-7011 FAX：052-739-7845
相談支援センターはおとか	〒 462-0025	名古屋市北区鳩岡町 1-1-5 TEL：052-911-0055 FAX：052-911-1155
相談支援センターくすのき	〒 462-0025	名古屋市北区如意 2 丁目 124 TEL：052-934-7556 FAX：052-902-7717
ヘルパーステーションそら	〒 462-0803	名古屋市北区上飯田東町 1-18-1 TEL：052-910-0712 FAX：052-910-0713
ケアプラン町南	〒 463-0066	名古屋市守山区町南 1-1 TEL：052-795-7571 FAX：052-726-6750
デイサービス町南	〒 463-0066	名古屋市守山区町南 19-27 TEL：052-795-3186 FAX：052-799-3666
めいほく町南の家	〒 463-0066	名古屋市守山区町南 19-27 TEL：052-778-7168 FAX：052-799-3666
デイサービス東町	〒 462-0803	名古屋市北区上飯田東町 1-18-1 TEL：052-917-4152 FAX：052-910-0713
茶食ぼちぼち	〒 462-0804	名古屋市北区上飯田南町 5-60 TEL：052-911-5188
おたすけクラブ	〒 462-0807	名古屋市北区御成通 3-20-4 TEL：052-910-3066 FAX：052-912-5188
憩の家	〒 462-0804	名古屋市北区上飯田南町 2-6-2 TEL：052-914-3270

